

静岡がんセンターで診療を受けられる皆様へ

当院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の連絡先へお問い合わせ下さい。

①対象者	2016年6月～2017年10月に悪性腫瘍による肝門部胆管閉塞に対して内視鏡的治療（内視鏡的逆行性膵胆管造影：ERCP）を行い、金属ステントを同時に3本留置した方。			
②研究課題名	非切除悪性肝門部胆管閉塞に対する金属ステント留置における Side by side と Partial stent in stent の組み合わせ法の検討			
③実施予定期間	承認日 ～ 2019 年 10 月			
④実施機関	静岡がんセンター			
⑤研究代表者	氏名	佐藤純也	所属	静岡がんセンター 内視鏡科
⑥当院の研究代表者	氏名	佐藤純也	所属	静岡がんセンター 内視鏡科
⑦使用する検体・データ	電子カルテ情報			
⑧目的	非切除悪性肝門部胆管閉塞に対する金属ステント留置において、3つ以上の領域を同時に治療する方法は現在比較的難易度が高いとされています。そこで当院ではその手技的難易度を下げる目的で、Side by side 法・Partial stent in stent 法という二つの方法を組み合わせて金属ステント留置を行う新しい方法を実施しています。この方法を分析し、有益性を明らかにすることを研究の目的としています。結果によって検査時間を短縮し、金属ステント留置に伴う患者さんの身体的負担を軽減できる可能性があります。			
⑨方法	肝門部胆管閉塞に対してERCPで金属ステントを3本同時に留置した患者さんの診療録から必要な情報を収集し、解析を行います。あらたに追加検査を行うことはありません。			
⑩倫理審査	倫理審査委員会承認日	2017 年 11 月 20 日		
⑪公表	研究成果は学会や医学論文などに発表されることがあります。			
⑫プライバシー	本研究では、名前・住所・電話番号等の個人情報を使用しません。			
⑬知的財産権	知的財産に関する権利（特許権等）は、静岡がんセンターに属します。			
⑭利益相反	本研究は企業との共同研究ではなく、企業からの資金提供もありません。			
⑮資料の参照	本研究について詳しく知りたい場合は、臨床研究事務局までご連絡ください。			
⑯問い合わせ	連絡先	臨床研究事務局	電話	055-989-5222（内線 3379）
	事務局にて、お問い合わせ内容をお伺いいたします。 後日、あらためて研究者より直接回答いたします。			

本研究のノウハウやアイデアに関する情報については公開できませんのでご了承下さい。